



哲楽家

Kiki



会いたく人がいるけど
もう会えない人だけ
もしも願いが叶うなら
言わせてください

100万回ありがとうと
10万回のぎゅえなさい
一度でもいいから
さよならを言わせてください

もしも願いが叶うなら
もしも願いが叶うなら

どうかどうか
あの人に言わせてください

100万回ありがとうと
10万回のぎゅえなさい
一度でもいいから
さよならを言わせてください

もしも願いが叶うなら
いつか願いが叶うなら

どうかどうか
あの人に言わせてください

わたしの願いうた

手回しオルゴールで
「願いうた」を届けたい



フジコさんのピアノで私の歌を届けたい。
共に演奏してくださるのは下仁田で生まれ
れた手回しオルゴールの製作者演奏家でもある
山田幸雄さんです。歌手ではなくあえて「哲
楽家」を名乗っています。
やさしくわかる やさしくできること
にやさしい おもいを音楽でお届けし、みん
なに優しい気持ちになつてほしいと「願いうた」
を創りました。
そんな紀々さんのコンサートには、飛び入り
の参加者やお子さんが登場し、手回しオルゴー
ルを演奏したりと大いに盛り上がりしました。



5月9日～23日
フジコ・ヘミングさんの
ピアノのメンテナンスが行われました



女性村

新聞

vol. 14

2025
Summer

歌手紀々さんと
山田幸雄さんの
コンサートコラボ
沖縄からわくわくやつてきました
うちなーぐち(こんにちは)
願う歌を届けにきました
紀々です

女性村より『ホテルを見る会』

源氏ホテル・平家ホテルの競演を
夏の夜に鑑賞してみませんか？

開催日時	2025年7月11日(金) 19時30分～
共催	環境庁認定 自然の共生サイト 里山の花畑
場所	安中市・里山の花畑 (群馬県安中市上間仁田908)
案内人	櫻田 稔
参加費	無料 ※事前のお申し込みが必要

女性村 ものがたりやま プロジェクト企画
『手遅れにならないうちに
13歳からの環境学』

開催日時	2025年7月11日(金) 18時～
講師	古庄弘枝(ノンフィクションライター)
場所	安中市・学習の森 (群馬県安中市上間仁田951)
参加費	無料 ※事前のお申し込みが必要ですが、当日でも受け付けます

EVENT



— 詩にふれて詩をつくろう —

うたのころ・ひびき・ちから 今こそ歌が必要な時代！



何でもかんでもがスマホやAIで賄えるわけではあません。
心がなければ言葉は出ません。言葉が知らなければ、美しい
表現はできません。生活と心の思いを大切にしたい方たちと
ご一緒に楽しんでください。

うた(唄・詩)について西館好子理事長、
詩人が対談。詩の作り方、実作、音楽に
あわせてうたの朗読などを楽しみます。

- お話と対談 「うたについて」…西館好子、国見修二
「詩を創ろう」…国見修二、貝塚津音魚
- 詩の朗読 即興音楽に合わせて詩の朗読をお楽しみください
- 詩を音楽にのせてみよう 藤井秀亮(ギター演奏とうた)

開催日時	2025年8月30日(土) 13時～14時40分
会場	群馬県下仁田町 女性村ねぎぼうず
参加費	500円



おかいこ倶楽部 第二回開催
「あかね染め実践教室」

【指導】 中谷比佐子(着物研究家)

自然豊かな群馬安中に自然共生サイト里山の花畑が
あります。魅力ある里山には多くの樹木、草花、昆虫や鳥
が生息しています。幸福を呼ぶとされる青い蜂が舞い、
夜は闇を照らす蛍やかな光を放し、森からは虫の声
の音楽が聞こえてきます。里山には染料となる植物が多
くあり、その中に「あかね」をみつけました。燃える太陽
を現した日の丸の赤はあかねで染めたものです。
あかね染めを皆様と一緒に染めてみたいと思います。日
程、詳細を今調整しています。多分9月になると
思いますが、参加ご希望の方はご一報ご連絡
ください。詳細をこちらからお送りさせてい
ただきます。

定期イベントのご案内

鑑定士 浅野美由紀
『手相鑑定』

費用…1,000円/10分

(複数人での利用については加算の可能性がありますが)
※事前のお申し込み必要

高橋美清
『厄僧による青空説法』

費用…無料※事前のお申し込み不要

相川厚 教授
『生き生き健康講座』

費用…無料※事前のお申し込み不要



女性村ねぎぼうずは、3月より土日祝オープンしています。
最新のイベント情報はホームページ、SNSで確認ください。

NPO 法人 日本子守唄協会事務局

TEL:03-6458-0283 FAX:03-6458-0284 E-mail:info@komoriuta.jp

https://www.komoriuta.jp/

お申込み
お問合せ先

HPはこちら→



4月6日（土曜日）

フジコ・ヘミングさんを
しのんで

【お話】

中島 英雄（カメラマン）

今年の4月21日はフジコ・

ヘミングさんの一周忌にあたります。

本来なら大掛かりに偲ぶ会が開催されていはずですが、テレビの報道番組以外そんな動きはなく、それはそれでフジコさんらしいと思います。三年前に愛用のピアノが下仁田に来た時、本当に小さな場所です少人数のためにピアノを弾きたいと願っていたフジコさん。長年フジコさんを撮り続けていたカメラマンの中島さんにお話しし、素顔のフジコさんのお話をさせていただきました。早春の緑の中でのしっとりとした会でした。



太鼓継承者）来訪。
ねぎぼうず館に保存していました黛一子画伯の「風のプレリュード」の画をご覧になって是非に子供たちに見せたいということ、みちのくみどり学園に長い旅をしてお嫁入りしました。後日子供たちが大喜びしている
と報告を頂きました。新園長の門出に向けて園に飾られた画は最高のお祝いにもなりました。本当に良かった。



「風のプレリュード」

5月3日（土）～5日（月）

子守唄を
知ってほしい会

【お話と演奏】

原 莊介（ギターリスト・子守唄研究家）

清水睦夫（ウクレレ協会理事長）

西館 好子

日本子守唄協会は今年で設立25年目になります。幼児期の子どもにとっていかに子守唄が大切、重要か（讃歌として）そして死に旅立つ（鎮魂歌）としての役目から、無くしてはいけない心の宝物として伝えていきたいという話と歌の披露までを三日間にわたりお話をさせていただきました。

多くの方おいでいただき、質問や資料の配布などいたしました。



5月10日（土曜日）

「鶴見和子さんの
着物の部屋」オープン
記念講演会

【講師】

藤原 良雄（藤原書店社主）

演題「鶴見和子という人」

中谷 比佐子（着物研究家）

演題「シルクの魅力と着物」

笠井 賢一（演出家）

演題「能装束と日本の和芸」

それぞれの先生方が鶴見さんの着物をきっかけとして、その分野での着物の広がりが見えてきました。大きな病の後に学者である鶴見さんが生きる糧とした和歌、踊り、着物へと執着を持つに至ったと話さ

黛一子画伯の
「風のプレリュード」
みちのくみどり学園へ

盛岡養護施設みちのくみどり学園から、藤沢昇会長、赤坂美代子園長、櫻井義久氏（ことりざわ学園主任児童指導員・野岳

れた藤原さん、能が死装束の舞であることの話。絹（シルク）の魅力と日本の着物のすばらしさに、一年中を着物で通されている中谷さんの絹や着物への情熱がよく伝わってきました。



見に行きました。一緒にしたのは我が国の鉛筆画の巨匠木下晋画伯でした。絵はす橋い物でしたが、その入り口に立てかけられた書画が文と言いや字と言いや心奪われるものでした。下仁田の自然の部屋にぴったりと思い、展示が終わったからこの書画はどこに行くのでしょうか、という話をしました。

榎木孝明さん、
木下晋画伯の来訪

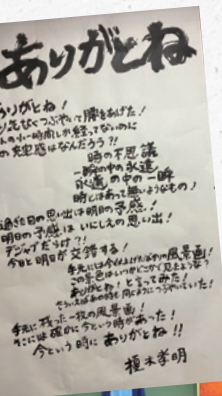
6月3日（土曜日）

榎木孝明さんは鹿児島出身。俳優だけではなく古武術家であり、武蔵野美術大学出身のれっきとした画家でもあります。やっぱりかっこよく目は素晴らしい輝き方をしています。子守唄の造詣も深く、私は取材で長野に一緒にすることが縁でDVDまで制作させていただきました。そのバックは榎木さんの絵で埋められました。



まさか、その書画を榎木さん自らがお届けくださると思いきやまさかでした。当日自ら運転した車で持参くださり、ねぎぼうず館をご覧頂き、大層ほめていただきました。本宿街道筋の街並みは時代劇のロケに使用したいとおっしゃっていましたが、今度は泊りがけで画を書きに來ますとおっしゃって、お帰りになりました。

木下画伯も下仁田は二度目、俺の画は売れないと笑っていましたが、まあ、飾って心が和むという絵ではありません。小林ハルさんというゴゼさんやハンセン氏病を被写体とした鉛筆画はしわの一本にも物言う厳肅なもので、全然質の違う書き方のお二人は仲が良く一緒においでいただいたことは本当にうれしく感謝の気持ちでいっぱいです。



堀越教之さんと版画

天台宗群馬教区下仁田部大僧正西光寺住職堀越教之師の版画の何点かがねぎぼうず館に展示されています。明るい仏画はおおらかで棟方志功かと思いましたが、それこそは棟方さんのお弟子さんの版画家に師事なさっていたとのこと。

たまたま鶴見和子さんの着物の展示をご覧くださったご住職が「日本ですね」と感想を述べられ、この部屋には最も日本らしい版画が似合うのでは、ということ、ご自分の寺からお運びくださいました。確かに、部屋に入るとちよつと手を合わせたい衝動にかられます。



鶴見さんの着物が、絵師や画家によって「職人もどき」や「竹林」を描いたものなど日本の歴史がうかがえるからでしょう。多くの角大師護符の版画は万能魔除けらしい物、ちよつと手を合わせたくくなります。多くの版画、仏様のさまざまな蒐集品に囲まれた常光寺。下仁田ねぎぼうず館に展示された版画と魔除けの角大師たちは堀越住職の製作です。